

ゆうかり放送委員会提供

ゆうかりに乾杯

第31回放送の概要 (2011年3月26日放送)

パーソナリティ

さくら (安本久美子)
タロウ (佃 由晃)
なかちゃん (中嶋邦弘)

コアラさんの地域瓦版

アコちゃん (三木文子)



ミキサー

門ちゃん (門田成延)
一ノ瀬悟

相談役

わだかん (和田幹司)

会計

小山俊則

(CM) JR兵庫駅前の「神戸ルミナスホテル」, 抜群のロケーション、最新の設備と最高のおもてなし、ビジネス、観光の快適な拠点として皆様のお越しをお待ちしております。1階コローレではおいしいコーヒーや紅茶、おいしいランチやお食事なども楽しめます。今日は「神戸ルミナスホテル」様(TEL:078-511-7700)のご協力を頂きました。

今後の復興への被災地のみなさまへの一助にたく義援金を集めることにいたしました。

振込先：郵便振込み

口座記号番号：01180-3-69377

加入者名：鷹取救援基地

通信欄に「東北関東大震災義援金」とお書き込みください。

**FMわいわいのスタジオ前にも募金箱を用意しております。

1. 東北関東大震災

番組の初めは、東北関東大震災（東北地方太平洋沖地震）について、放送スタッフとゲストの牧野円さん、高志先生にも入ってもらい想いを語っていきたくと思います。我々も規模は違うが16年前の阪神淡路大震災で同じ痛みを味わった。牧野さんは震災時は生まれて間もない時であった。

さくら：仙台の息子家族がおりお嫁さんの家族が被災。

タロウ：今回は地震と津波の被害が非常に大きい、さらに原発による被害が加わり、放射能の影響など今後どのようなか予測できない状態にあり心配である。40年間原子力発電に携わってきた者として申し訳ない気持ちで一杯である。事象の進展は想定がつくので悪い方向に進んできたので胸がずっと痛んでいた。

わだかん：16年前の大震災以上の大震災が今回起きたが、16年経った我々はしんどいながらも街もきれいになったので、時間の問題であり必ず復興すると確信し、悲観的にならず、夢も見ながら過ごすことが大事。

なかちゃん：阪神大震災の貴重な体験、知識を災害対策の百科事典としてまとめており、その編集の手伝いをしているが、印刷間際になってこのような大震災が発生したので津波と原発災害を急遽取り込むことにした。巨大複合災害というジャンルを設け、新たに先生に執筆してもらうことになった。今回の大震災では阪神の対応が改善されて活かされており経験が無駄ではなかった。

高志先生：学校としては丁度高校入試と重なったため、取りあえず義援金だけでも集めようということになっている。これから新学期が始まるので何かやらなければ考えている。

牧野 円さん：被災した記憶がないのでTVを見て地震であるように大変なことになることを認識し、

現地の生徒たちが炊き出しなどの手伝いをしているのを見て自分たちもやらなければと思った。

あこちゃん：長田に住んでいたので燃える街を見ながらどうすることも出来ず、子供も小さく親戚で親が亡くなった家族を預かったりしていたので、2、3週間して自分ができることとして炊き出しの手伝いをするようになった。携帯普及率が当時は2~3%、現在は98%になっているので今は的確な情報発信と、その情報を冷静に受け止める知識が求められ、そして行動に移す必要がある。原発、災害、政治、経済のことを興味ないということに一石を投じたとも考えられる。目覚めよ若者。すごく悲惨で悲しいことだが前向きに日本が生まれ変わるチャンスである。

タロウ：日本が生まれ変わったのは明治維新、第2次大戦であり、今回は3回目のことになると思っている。海外も日本は震災時の整然とした行動を見て必ず蘇ると言っている。

2. ゲストコーナー：兵庫高校1年生 牧野円（まきのつぶら）さん、高志直全（たかしなおまさ）先生

牧野さんは兵庫高開校以来初の女性ラグーマンで、そのラグビー部の監督が高志直全先生です。牧野さんがラグビーを始めようとしたきっかけは、子供の頃父親が北区に北神戸ラグビークラブを作り、姉妹3人わけもわからずそこに放り込まれた。最初ボールを見たときこれはなんじゃと思ったが、クラブのスローガン「ボールを持って鬼ごっこ」の通り、とりあえずボールを持って走り回り、男の子とぶつかり、走っていた。今は鬼ごっこというようなかわいいものではなく気を抜くとやられてしまう。

父親に男の子の方が良かったかと聞いたことがあるが、そんなことはないという返事だった。中学のラグビー部は六甲や灘などの私立にはあっても公立はなかったのでバスケットボール部に入っていた。北神戸ラグビークラブでは中学までは男女一緒に試合に出ていた。その時は一番大きく、力も一番強かったので男子に恐れられていた。

高校のラグビー部に入ろうと決めたのは中学3年の3月で、兵庫高校に入学することが決まったこと、オリンピックやワールドカップが決まったことで女子ラグビーが注目を浴びるようになったこと、中学時代バスケットボールをやりながらラグビーをやりたいと思っていたことなどから、おもいっきりやってみたくなった。

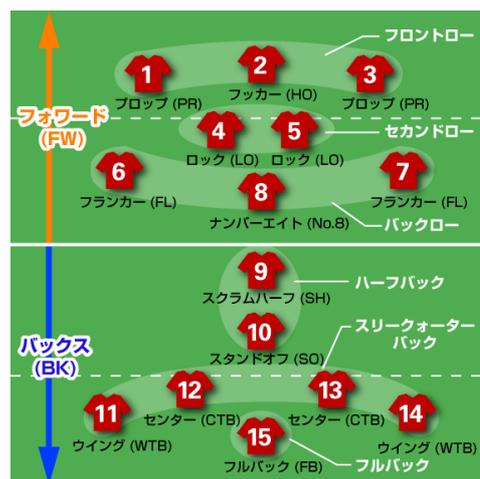
高志先生としては男ばかりのところに牧野さんがプレイヤーとしてやりたいと言ってきた時、どのように対応しようかと思ったが、体験入部させると普通にやっていた。同じ時に入部した1年生は男子9人（現在は10人）と牧野さんの計10人であった。練習では男子と同じ当たりもしているが試合には出られないのが悔しい。その時はアシスタントレフリーをしている。ポジションはがちんこで押すフォワードの中のフランカーという一番走るポジションと言われているところである。

（注：6,7番 フランカー「FL」）

FWのポジションでスクラムの際に3列目の左右に位置する。体で相手陣を押し崩す役回り。ボールを保持して密集地のサークル役目も担う。主に守備を担当するFW陣において、攻守に活躍し身体能力、運動量が求められる。

今年4月に香港との親善試合の女子18歳以下の日本代表に選ばれた。次は2016年のオリンピックであるが年齢も21~22歳になり最も良いタイミングになるので目指したい。オリンピックのルールは7人制であり、15人制と比べるとコートの大きさは同じであるが、人数が半分以下のため運動量が激しく、一人一人の役割、責任が非常に重要である。15人制は試合が動かないことが多いが、7人制はトライが多く得点が高くなる。7人制は走る、パスをするので見ていて楽しい。試合時間は7人制がハーフ7分に対し15人制は40分である。7分間は走りづめなので大変しんどいスポーツである。

高志先生は大学時代にラグビーをやっており、教員になってからは指導する立場になっている。現役時代のポジションはフランカー、センターであった。



親善試合の代表とはセレクションで全員の顔合わせをしているが、大震災の被災者もおられるようで心配である。今年はニュージーランドでワールドカップが開催される予定である。日本の最近の成績としてはアジア予選で負けているのでワールドカップに参加できない状況にある。

牧野さんには是非オリンピックに出場していただきたいと思っています。

3. ゆうかり大好きコアラさんの地域瓦版

ハーブ園が4月1日からリニューアルされます。明日までですが南京町で興隆春風祭が開催されます。本日新長田駅前の鉄人広場と地域人材支援センター（旧二葉小学校）において「高校生鉄人化まつり」が開催された。兵庫高校1年7組1班の生徒たちによる「鉄人のまちづくりイベント企画」が最優秀賞になり、その企画が具体化されたものである。兵庫高校の呼び掛けに長田の高校が多数賛同し、共同して実施されたもので素晴らしいイベントであった。



4. 来月のゲスト

来月のゲストは聖パウロ生石（おおしこ）保育園園長の坂牛八州さんにお越しいただきます。

番組に対するご意見、ご感想はこちらまで：yuukarinikanpai@gmail.com